

令和7年度 条例予算特別委員会 当初予算案の概要

水道局の施策体系・当初予算案総括表	1頁
施策目標1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進	3頁
施策目標2 安全で良質な水道水の供給	4頁
施策目標3 危機管理対策の推進	5頁
施策目標4 安定経営の持続	6頁



水 道 局

水道局の施策体系

基本理念

みなさまから信頼される水道 ～安全で良質な水の安定供給～

「福岡市水道長期ビジョン2028」 (平成29年2月策定)

第3次「福岡市水道中期経営計画」 (令和7年3月策定予定)

に基づき、各施策を着実に推進します！



長期ビジョン
2028

中期経営計画
(4年ごとに策定)

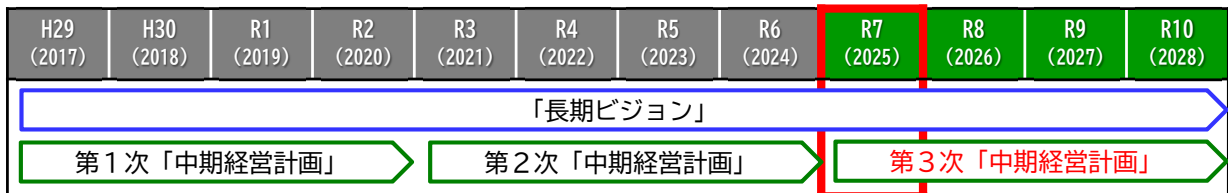
毎年度の予算・運営方針

水道事業運営の基本計画
(計画期間：12年間)

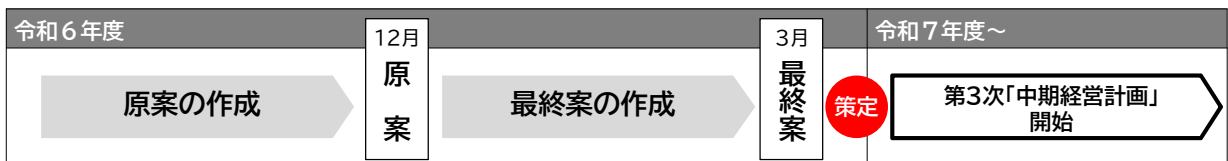
長期ビジョンの実施計画
(計画期間：4年間)

施策目標

- 1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進
- 2 安全で良質な水道水の供給
- 3 危機管理対策の推進
- 4 安定経営の持続



第3次「中期経営計画」の策定



当初予算案総括表

水道局 当初予算の規模

	令和7年度	令和6年度	比較増減
一般会計	2,055,365千円	1,508,931千円	546,434千円
水道事業会計	69,148,770千円	69,041,620千円	107,150千円
工業用水道事業会計	614,691千円	439,823千円	174,868千円

主要事業の当初予算額

	令和7年度	令和6年度
施策目標1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進	19,674,984千円	20,301,144千円
ア 水道施設の維持・更新	18,461,782千円	19,240,642千円
● 配水管の整備 ● 水源・浄水場の整備 ● 浄水場の再編		
イ 水の有効利用	1,213,202千円	1,060,502千円
● 配水調整システムの整備 ● 漏水防止調査 ● 給水管の漏水対策 ● 「水をたいせつに」広報の推進		
施策目標2 安全で良質な水道水の供給	192,716千円	128,705千円
ア 水源かん養機能の向上と水源地域・流域との連携・協力	62,374千円	57,724千円
● 水源かん養林の整備 ● 水源地域・流域との交流		
イ 水質管理の充実	127,747千円	68,519千円
● 水質検査の充実 ● 福岡市独自の水質目標による水質管理		
ウ 給水栓における水質保持	2,595千円	2,462千円
● 小規模貯水槽の適正管理の啓発 ● 直結式給水の普及促進		
施策目標3 危機管理対策の推進	895,839千円	670,895千円
ア 地震等災害対策の推進	841,262千円	473,224千円
● 第2次耐震ネットワーク工事の推進 ● 重要施設の耐水化 ● 様々な自然災害への備え		
イ 事故・テロ等対策の推進	45,976千円	145,132千円
● 水道施設のセキュリティの確保 ● 水道原水の監視		
ウ 危機管理体制等の充実	8,601千円	52,539千円
● 危機管理対応の充実 ● 災害応急体制の充実		
施策目標4 安定経営の持続	210,274千円	206,660千円
ア お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上	53,670千円	53,146千円
● 積極的な情報提供 ● ICTを活用したサービスの向上		
イ 経営の効率化	26,282千円	20,068千円
● 水道DXの推進		
ウ 人材育成の推進	27,240千円	25,178千円
● 技術の継承等による人材育成 ● 国際貢献活動		
エ 環境に配慮した事業運営	103,082千円	108,268千円
● 再生可能エネルギーの活用 ● 省エネルギー・省資源の推進		

施策目標 1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進



(1) 配水管の整備

(予算：11,985,597千円)

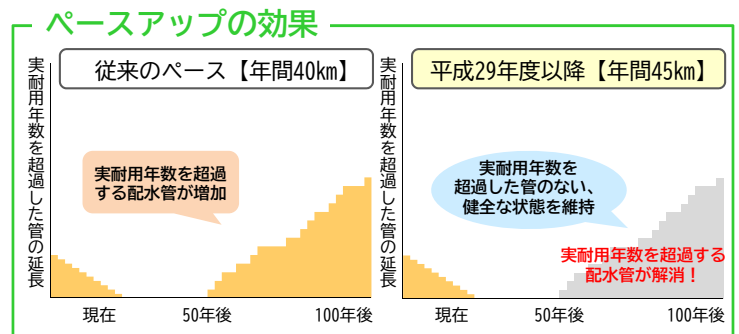
約4,100kmに及ぶ配水管について、実質的な耐用年数内に順次更新ができるよう計画的に更新工事を推進します。

《令和7年度の実施計画》

◇配水管の整備 45km

Point

- ・ 計画的に配水管を更新し、令和8年度末までに実耐用年数超過管を解消
- ・ 配水管の整備の際には、全て地震に強い耐震管を使用



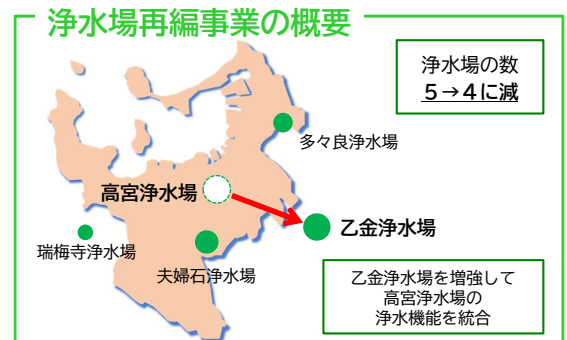
(2) 浄水場の再編

(予算：1,886,086千円)

高宮浄水場の浄水機能を乙金浄水場に統合します。高宮浄水場は、新たに緊急時給水拠点機能を持つ配水場として再整備します。

《令和7年度の実施計画》

- ◇乙金浄水場の増強
- ◇高宮系送水管の整備 (災害時の貯留機能を併せ持つ送水管)



(3) 配水調整システムの整備

(予算：259,767千円)

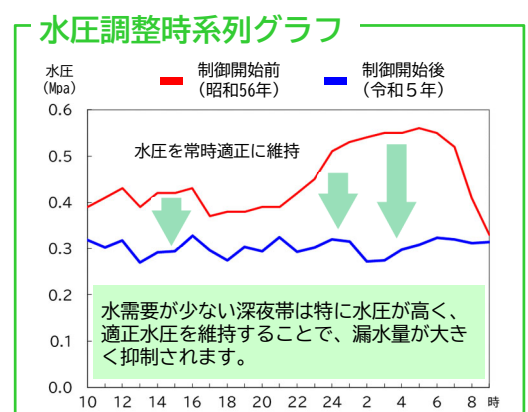
水管理センターで運用する配水調整システムの機能を適正に維持するため、市内に約300箇所設置している遠方監視制御装置を計画的に更新します。

《令和7年度の実施計画》

◇遠方監視制御装置の更新 14箇所 等

Point (配水調整システムの機能・効果)

- ・ 各浄水場間の流量調整 (相互融通)
- ・ 水圧調整による漏水量の抑制
- ・ 配水管異常時の早期発見と配水ルート of 迅速な変更



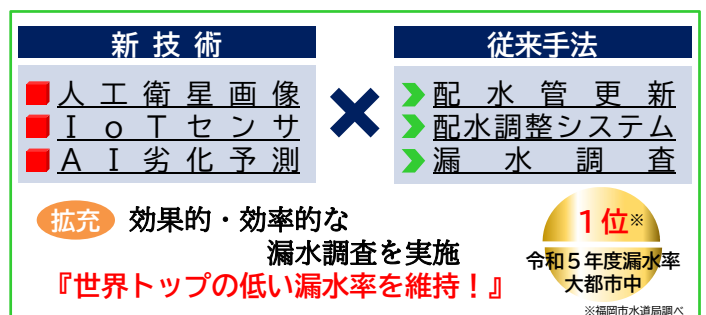
(4) 漏水防止調査

(予算：269,016千円)

市内全域の配水管と給水管について、漏水を早期に発見・修理するため、従来手法に加え、新技術を活用した効果的・効率的な漏水調査を計画的に実施します。

《令和7年度の実施計画》

◇漏水調査の実施 (調査延長：2,880km 等)



(1) 水源かん養林の整備

(予算: 60,359千円)

水道局が所有する水源かん養林の機能向上を図るため、スギやヒノキの人工林を主伐し、広葉樹の苗木を植樹するとともに、伐竹等の計画的な整備を行います。また、100年後の水源かん養林のあり方を見据え、「福岡市水道水源かん養林整備計画」を改定します。

《令和7年度の取組み》

- ◇スギ・ヒノキの主伐、広葉樹苗木の植樹 5ha
- ◇水源かん養林の伐竹や下草刈り等 28ha
- ◇市外関連ダム周辺の水源かん養林の整備支援
- ◇福岡市水源の森づくり共働事業

新規 ◇「福岡市水道水源かん養林整備計画」の改定

Point

- ・間伐から主伐を中心とした整備方針の変更、水源かん養林の機能向上及び水源エリアの魅力向上に向けた森林ゾーニングや整備手法等を検討



(2) 水質管理の充実

(予算: 127,747千円)

安全で良質な水道水をじゃ口までお届けするため、水質検査機器の計画的な更新や水道G L P※に基づく精度の高い水質検査の実施、検査技術のさらなる向上等により、検査体制の充実を図ります。また、水道水の残留塩素濃度をきめ細かに調整するなど、水質管理の徹底に取り組みます。

※水道G L P: 水質検査の信頼性等を第三者機関が客観的に判断・評価し、認定する制度のこと。

《令和7年度の取組み》

拡充 ◇P F A S (有機フッ素化合物) 検査用分析機器を最新鋭機器へ更新

- ◇国の水質基準等よりも厳しい独自の水質目標による水質管理
- ◇水質検査計画の策定

徹底した水質検査

200 / 項目以上の水質検査

国の「水質基準」についての検査

かび臭、細菌、トリハロメタンなど

51項目

福岡市独自の検査

農薬類など

150項目以上

Point

- ・最新の水質基準の改正や、P F A S (有機フッ素化合物) 等の新たなリスクに迅速に対応

(3) 給水栓における水質保持

(予算: 2,595千円)

お客さまに水道水を安心してご利用いただくため、小規模貯水槽（有効容量10m³以下）の適正管理に向けた啓発に取り組みます。また、「直結給水相談窓口」での技術的アドバイスや、関係団体と連携した広報活動等により、直結式給水の普及を促進します。

《令和7年度の取組み》

- ◇小規模貯水槽の設置者への啓発資料の送付等
- ◇直結式給水に関するアドバイスや現地調査等

貯水槽の適正管理の啓発

貯水槽の管理について、お客さまによりわかりやすく説明したパンフレットや、貯水槽の点検方法に関する動画を使って、広報・啓発に努めています。

パンフレットや動画は、福岡市HPに掲載しています。



パンフレットは情報プラザや各営業所でも配布しています。



施策目標3 危機管理対策の推進



(1) 第2次耐震ネットワーク工事の推進

(予算: 780,464千円)

地震等災害が頻発化・激甚化している現状を踏まえ、福岡市地域防災計画の改定によって追加となった収容避難所等に加え、新たに一時避難所を対象施設とし、給水ルートの耐震化を計画的に実施します。

《令和7年度の取組み》

新規 ◇一時避難所等の対象施設への管路を耐震化 12施設

Point

- ・新たに一時避難所である公民館等を対象施設に加えて、対象90施設の給水ルートの耐震化を実施

耐震ネットワーク工事の概要



(2) 重要施設の耐水化

(予算: 60,798千円)

洪水や高潮浸水、土砂災害等の災害発生時においても、市民生活等への影響を最小限にとどめるため、浄水場や取水場等の重要な水道施設や災害対策の拠点である水道局本庁舎について、耐水化のための対策強化を図ります。

《令和7年度の取組み》

- ◇水道局本庁舎の電源喪失対策に着手
- ◇夫婦石浄水場の土石流対策に着手 等

Point

- ・近年の気候変動を踏まえ、対策完了を2年前倒しして、令和10年度末までに、重要施設5施設の耐水化完了を目指す

水道局本庁舎の電源喪失対策



(3) 様々な自然災害への備え

地震をはじめ、台風や豪雨、落雷、寒波など、様々な自然災害発生時においても、給水への影響を最小限にとどめることができるよう、配水調整システムによる浄水場間の流量調整（相互融通）、配水管のループ化、非常用発電装置の増強（貯蔵燃料の増量など）など、バックアップ機能の充実を図るとともに、迅速かつ的確に対応できるよう、各種危機管理マニュアルの見直しを適宜実施します。

《令和7年度の取組み》

拡充 ◇夫婦石浄水場、番托取水場、下原配水場の非常用発電装置の増強に着手

Point

- ・令和10年度末までに、重要施設10施設の非常用発電装置増強完了を目指す

非常用発電装置の増強

- ◆ 重要施設の貯蔵燃料の増量（1日分程度→3日分）等の機能強化

主要配水池からの配水が停電発生から3日間継続可能となります。

(1) 積極的な情報提供

(予算: 26,818千円)

広報紙やホームページ、ソーシャルメディア等の様々な広報媒体、イベントを通して、お客さまが必要としている情報を積極的に提供するとともに、対象に合わせた広報媒体を選択するなど、戦略的な広報に取り組みます。

また、水道の必要性と重要性、水道料金の使い道等の情報を提供するとともに、こども職業体験等を実施し、水道の仕事の魅力を発信します。

《令和7年度の取組み》

- ◇「みずだより」やパンフレットの発行
- ◇こども水道教室や職業体験の実施

拡充 ◇デジタル広報の強化 等

Point

- ・ターゲットに応じたSNSやアプリの積極活用、大学生等と連携した情報発信

子どもを対象とした広報

こども水道教室

子どもたちに、福岡市水道の歴史や、水道水ができるまでの仕組み、水道水の安全性等を知ってもらい、「じゃ口の向こう側への理解」を深めてもらうため、市内の小学4年生を対象に、出前授業を実施

こども職業体験

未来を担う子どもたちが、「水道の仕事を直に体験」する機会を創出



水道管の接合



漏水調査



水圧の調整

(2) 水道DXの推進

(予算: 26,282千円)

事業運営のあらゆる分野において、ICT等を積極的に活用することにより、業務の効率性・生産性の向上や、迅速で利便性の高いサービスの実現を目指し、「水道DX」の取組みを進めます。また、DX人材の育成にも取り組み、働き方DXを推進します。

《令和7年度の取組み》

- ◇IoTセンサを活用した水道管漏水調査

新規 ◇スマートグラス等を活用した遠隔作業支援 (令和7年度実装) 等

スマートグラス等を活用した遠隔作業支援

遠隔作業支援の実証状況



ベテラン職員が
現地画像を見ながら
作業支援



- ・リアルタイムに映像や音声を事務所等に共有し、現場で作業する職員をサポート
- ・遠隔作業支援による維持管理業務の効率化、若手職員への知識・技術の継承

(3) 国際貢献活動

(予算: 6,084千円)

節水型都市づくりを通して培ってきた水道技術を活かして、JICA（独立行政法人国際協力機構）等と連携した国際貢献活動を推進します。活動を通して、水道局職員の技術や知識の向上を図り、広い視野を持った人材を育成します。

《令和7年度の取組み》

- ◇JICA等と連携した開発途上国への技術協力（職員派遣による現地指導や海外研修員の受入など）

水道局の国際貢献活動



現地での技術指導



水道技術研修所での受入研修

(4) 環境に配慮した事業運営

(予算： 103,082千円)

◇再エネ由来電力の調達

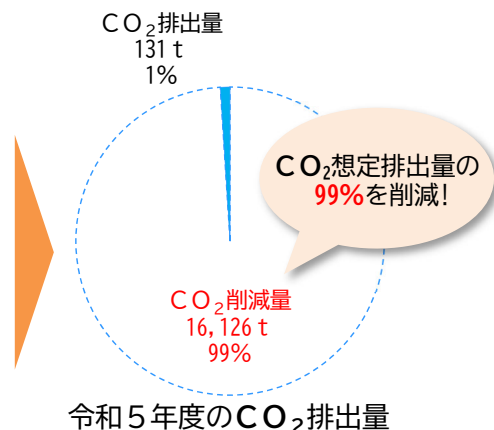
(予算※： 52,443千円)

※再生可能エネルギー由来電力の調達にかかる追加予算分

浄水場や庁舎等の水道施設におけるCO₂排出量の99%は、電力使用によるものです。

水道局では、脱炭素社会の実現に寄与するため、令和4年度から水道施設で使用する電力は、再生可能エネルギー由来電力を調達しています。

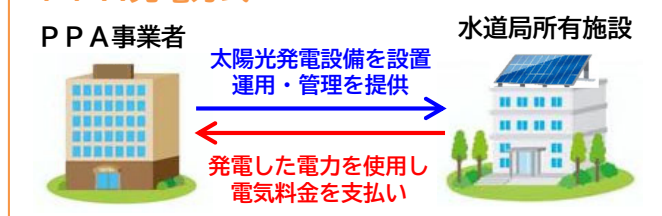
再エネ由来電力未調達時のCO₂想定排出量



◇太陽光発電の導入

自家消費を主目的とした、初期投資が不要なPPA※方式を活用し、太陽光発電を導入拡大します。

PPA発電方式



※PPA：「Power Purchase Agreement」の略で、発電事業者が施設の屋上等に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、そこで発電された電気を水道局に供給する仕組み

《令和7年度の取組み》

◇夫婦石浄水場、羽根戸配水場、室見取水場へPPA方式で導入（令和8年度完了予定）

導入施設	計画発電量	施工時期
夫婦石浄水場	480,000 kWh/年	令和7年度
羽根戸配水場	110,000 kWh/年	令和8年度
室見取水場	40,000 kWh/年	令和8年度

